



細木 病院

令和4(2022)年度 目標と取り組み

院長 細木信吾



院長となって、あっという間に1か月がたちました。今月号では『令和4年度細木病院の目標と取り組み』についてお話ししたいと思います。次の4本の柱からなります。

- ① 患者さんの満足度向上
- ② 職員の働きやすく働き甲斐のある職場づくり
- ③ 新型コロナウイルス感染症対応の強化
- ④ 経営基盤の安定と強化

④は結果としてついてくるところも多いですので省きまして、残りの3本の柱をお話しします。

1本目の柱は、1番大切な、「患者さんの満足度向上」についてです。

まず、皆さんが私たちをどう思っているのかを知ることが第一歩と考えています。より多くの皆さんからの意見をいただくために、当院にいらっしゃる外来患者さんや入院患者さん、ご家族の方々にアンケートをお願いしたいと思います。より良い細木病院にするために、皆さんからの忌憚ないご意見を、ぜひよろしくお願いいたします。

現在決まっている、患者さんに満足いただくための病院機能強化としては、外来のデジタル掲示案による患者さん呼び出しシステムの導入(5月予定)、最新のMRIへの更新(5月予定)、ほそぎハートセンター第2カテール室の始動(6月予定)と心臓リハビリ・検査室の拡張(10月予定)、急性期病棟である新3病棟の改装等を予定しています。

同時に、職員の接遇向上に向けた研修も随時行っていく予定です。皆さんからの声を大切に、解決に取り組んで皆さんに満足していただき、「またかかりたい、知人にも勧めたい」と思われる病院を目指します。

2本目は、「職員の働きやすく働き甲斐のある職場づくり」への取り組みです。

職員の仕事負担軽減のためにタスクシェア、タスクシフトという取り組みを始めます。例えば、医師の仕事では、入院主治医は、夜も休日も当直で疲れた翌日も、受け持ち患者さんのすべての事柄(さまざまな患者さんの訴え、内服薬や点滴の処方等)にいつでも対応しなければならず、十分な休息が取れないことが問題でした。これからは、夜や休日は当直医が、当直翌日は代診医が対

応するシステム(タスクシェア)を徹底し、休息をしっかり取ってもらいます。これまで医師が書いてきた診断書やいろいろなレポートは、医療秘書が代行し、医師の負担を軽減します(タスクシフト)。さまざまな業種のタスクシェア、タスクシフトを行い、働きやすい職場環境を整えます。

また、毎朝、『ほそぎ10分間ミーティング』という、webと対面で行う朝礼を始めます。出勤する医師、看護師、病院すべてのスタッフに参加してもらう予定です。皆が遅滞なく情報共有できて、笑顔になって連帯感が持てるようなユニークなミーティングにしたいと考えています。

3本目は、「新型コロナウイルス感染症対応の強化」についてです。

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、4年目に突入しましたが、いまだ収束の兆しは見えません。当院もクラスターを経験し、特に地域の皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたし、私たちも苦しい思いをしてきました。社会ではウィズコロナの生活が進められ、町にも徐々に活気が戻ってきています。しかし、病院に来る必要のあるさまざまな病気を持つ患者さんにとっては、重症化しにくいとされる新型コロナウイルス感染症も命取りになり得ます。そのため、当院では今も厳格な感染対策と職員の行動制限を継続しています。これまでは、新型コロナウイルス感染症には2名の感染症の専門職員で対応していましたが、個人にかかる負担が大きくなってきたため、ここでもタスクシェア、タスクシフトを行います。各病棟、部門それぞれで独立した感染対策体制を構築し、1人に過度な負担がかからないようなタスクシェアを進めます。さらに地域においても他の医療機関と連携を取り、社会医療法人として感染対策の基幹的な役割を担っていきます。これからも感染対策に気を抜くことなく、患者さんの命を第一に考え、取り組んでいきます。皆さんには、入院患者さんの面会制限や、入院や外来でのさまざまな感染対策上のお願いや、ご負担をおかけすることになりますが、ご理解、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

以上を、今年度の柱として取り組むことで、良い方向に向かっている細木病院を、皆さんに感じてもらえればと思います。ご期待ください。



細木
病院

深田順一 名誉院長就任のご挨拶

このたび、3月31日付をもって細木病院院長の任を退き、翌4月1日からは名誉院長として、引き続き診療ほかの業務に当たることとなりました。在任中は公私にわたり格別のご厚情とご支援を賜りましたこと、心から厚く御礼を申し上げます。



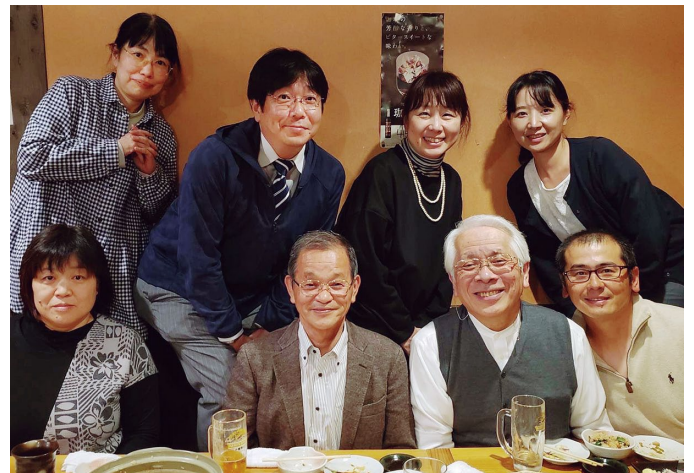
細木病院院長職へは令和元年11月の着任でしたが、夏頃、当時、勤めておりました三愛病院の院長室で細木秀美理事長から、堀見忠司先生が院長職を退くことになったので、後任を引き受けてほしい、というお話をいただきました。大変に驚きましたが、私の仕事ぶりを見てこられたはずの理事長から、6人目の院長として、これまでになかったカラーを残してもらいたいと言われたことで少し気が楽になり、お引き受けすることにいたしました。

現代の臨床では、多職種によるチーム医療を原則に、その時点でベストの治療を確実に目の前の患者さんに提供することが求められるわけですが、私は、特に当院のようにスーパー多職種が参加する現場では、業務の標準化には手順書を中心に置くことがベストの方略と考えており、院長在任中は、事あるごとにこの考えに基づく発言をしてきたつもりです。

しかし実は私は、元々医学の基礎研究に従事してきた前歴もあり、手順書やマニュアルの類に対しては、むしろ冷笑する側の人間だったのです。この思いを覆す契機になったのは、高知医科大学から高知医療センターへ移る直前、県の依頼で管理栄養士養成へと組織替えした高知県立女子大学健康栄養学科の教員となり、基礎医学から社会医学まで、一人で医学のすべてを教えるという経験をしたことでした。そこで驚いたのは、私が専門とする糖尿病には、わずか2コマの授業時間しか割かれてい

なかったことです。これは、それまでさまざまな患者さんへの栄養指導を「頼むね」の一言で丸投げされていた管理栄養士さんたちは、実は業務を通じて経験、学習し、自らを高めてきたことを意味している一方、それ故に、メンバーごとの経験の違いから業務への考え方の違いも生じうるはずで、業務の質を揃えるには一定の手順書のようなものがどうしても必要という考えに至ったのです。その後、縁あって私は、病院の医療・経営の質向上と医療人材の育成を3本柱とする日本病院会の活動に、当初は診療情報管理士養成、ついで医療の質改善を担うQ1委員会委員として10年あまりかかわってきましたが、院長就任の前年、金沢市での日本病院学会でシンポジウム「医療の質改善の方略」の座長を務めたとき、控室でシンポジストの永井庸次先生が「深田先生、半年見直されていない手順書は職員に使われてない、と言えるんですよ」と言われたことが忘れられません。

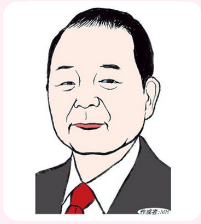
私は病院業務の標準化には、①管理者には全体の旗振り役と必要時、すぐ手順書に当たれる機器・設備の整備、②チームリーダーには手順書の最善・最新化へ最終責任が自分にあることへの自覚、③チームメンバーには必要時、手順書で確認する習慣付けと手順書の不十分さを申し出る勇気、これらが必要と考えています。しかし機能評価で病院訪問をしても、インシデントレポートへの対応が業務手順書改定で完結する流れになっている病院はいまだに多くないのが現実です。



風変わりな院長退任と名誉院長就任の弁になってしまいました。上の写真は私にとっては懐かしい、院長職就任直後の懇親会の様子です。このような交流の場が早く戻ることを祈りつつ、ペンを置く次第です。

時 事
エッセー

メタボ予防よりフレイル予防



仁生会理事長
細木 秀美

最近、正座から立とうとする時、つい手をついてしまうようになった。下肢の筋力の低下だと思い、毎日、歩いたり、体操をしたりしているが、もう年だから

と少しあきらめている。このように、次第に筋力が低下してくる状態を「フレイル」といい、日本語では「虚弱」という意味だ。年を取ったら、体の余力が次第に低下し、いろいろのストレスがかかると、元に戻る能力が低下する状態をいう。高齢になって、平均よりも老化（筋肉の力だけでなく、脳の働きも）が進むと「フレイル」だ。

現代は、65歳以上を高齢者と呼ぶが、将来は「フレイル」かどうかで、高齢と呼ぶ時代が到来し、90歳を超しても、十分に元気いっぱいの方は、高齢者ではないといわれる

時代が来る気がする。フレイルを予防することは、私たちの健康寿命を延ばすことに直結する。国立長寿医療研究センターの荒井先生は、フレイルの評価を、①半年で2kgから3kgの体重減少、②握力が男性26kg、女性18kg以下、③訳もなく感じる疲労感、④歩行速度が毎秒1m以下、そして⑤毎日軽い運動や体操をしているか、または定期的な運動やスポーツをしているかについて、1週間に1回もしていない人と上記5項目中3項目以上が該当した人がフレイルと呼ばれることになる。

若い間は、メタボ予防が健康を増進させるが、高齢者はむしろ、タンパク質を多く摂って、フレイル予防に気をつけることが、健康で長生きの秘訣になるだろう。毎日、体と脳のトレーニングを欠かさないように気をつけよう。

細木病院

痛み外来（ペインクリニック）で『光線療法』開始！

痛み外来（ペインクリニック）では、直線偏光近赤外線治療器「スーパーライザー」による赤外線照射療法（光線療法）を開始しました。

「スーパーライザー」は、光線を障害部分に当てることで、障害部分の血行を改善し症状を緩和します。さらに、神経に直接作用して、緊張している神経を平常な状態に戻して、多くの疾患に効果を発揮します。

対象となる疾患は、頭痛（片頭痛、筋収縮性頭痛、群発頭痛、側頭動脈炎）、脳卒中後疼痛、肩こり、めまい、耳鳴り、末梢顔面神経麻痺（ベル麻痺、ハント症候群、外傷性麻痺）、



顔面痛、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、肩・腰・膝などの関節痛、手足の血行障害、自律神経失調症、更年期障害、不眠症、冷え性、便秘、皮膚潰瘍、帯状

疱疹後神経痛、湿疹など多岐にわたります。

使用方法は、障害のある部位に5～10分程度光を当てるだけです。痛みや刺激はなく、副作用や合併症もありません。また回数の制限もありません。痛み外来（ペインクリニック）で行われている神経ブロック注射と併用して行うと効果的ですが、「スーパーライザー」単独で治療することもできます。慢性の痛み治療のひとつの手段として、安心して治療を受けていただけます。

痛み外来（ペインクリニック）の診察日は、火曜日と金曜日のそれぞれ午前中となっています。どうか気楽に痛み外来（ペインクリニック）にご相談ください。☎ 088-822-7211

（麻酔科・ペインクリニック部長 細川滋俊）



仁生会

「ウクライナ情勢 特別講演会」開催 内閣総理大臣補佐官 中谷元 先生が語る！

4月23日、衆議院議員の中谷元先生をお招きし「ウクライナ情勢 特別講演会」を開催しました。本会場の細木病院と三愛病院や福寿園等の仁生会グループをリモートで結び、総勢100名程が聴講しました。

中谷先生は、現在、内閣総理大臣補佐官（国際人権担当）としてご活躍されています。先般、ウクライナから多くの避難民を受け入れているポーランドを訪問し、その状況を視察されるとともに、日本への渡航を希望しているウクライナの方たちと一緒に帰国されています。そうした状況も踏まえ、豊富な写真を使って分かりやすく講演いただきました。

ウクライナから250万人もの避難民を受け入れているポーランドのドゥダ大統領は、「彼らを難民とは呼ば

ない。我々のゲスト、兄弟、隣人だ」と言っているそうです。ポーランドは、隣接する大国に翻弄され続けた歴史があり、戦争の悲惨さや深い悲しみを知っているからこそ、国を挙げた支援につながっているのだと思います。

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に対し、国際社会はどう対処すべきなのか？日本はどうして行くべきなのか？自分は何ができるのか？今回の講演は、自分事として考える大変有意義で貴重な機会となりました。

（仁生会事務局長 宮地耕一郎）



細木病院

令和3年度1年目の初期臨床研修を振り返って



研修医 赤尾 敦

早いもので、私が臨床研修医として細木病院に入職させていただいてから1年がたちました。コロナ禍での研修生活となり、あらゆる場面で感染症対策について考える1年でした。そのような状況の中でも、基本的な手技や院内講習会、学会発表等、多くの学びの機会を作ってください

ことに感謝の気持ちでいっぱいです。先生方や看護師さん、スタッフの皆さん、この1年本当にありがとうございました。手技、知識ともにまだまだ未熟な私ではありますが、これからも精進していきたく思います。

4月からは研修医2年目となり、研修医生活も折り返しに入りました。初心に帰り、いっそう気を引き締めて日々の研修に取り組んでいきたいと思ひます。まだまだ至らない点が多く、皆さんにはご迷惑をおかけすることも多々あるかと思ひますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



研修医 足達 大輔

医師として細木病院で働き始めてから、早1年がたちました。4月は右も左も分からぬ状態で始まりましたが、指導医の先生方やスタッフの皆さんの支えのおかげで、何とか最初の1年間を終えることができました。はじめは電子カルテの使い方すら分からず、戸惑うばかりでしたが、皆さんの丁寧なご指導のおかげで少しずつ業務に慣れることができ、感謝しています。また、細木病院の研修の自由さのおかげで、1年目から大学病院でも研修を受けることができ、市中と大学の双方で研修させていただけたことは大変勉強になりました。細木病院の自由な研修の度量の広さにも感謝しています。

まだまだ学び続けなければならないことは多々ありますが、周囲の方々に支えていただいていることに日々感謝しつつ、研修医2年目も精進していきたく思ひます。上級医の先生方、スタッフの方々には、残りの1年間も変わらぬご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。



研修医 高田 玲

細木病院の皆さんには、昨年度大変お世話になりました。また、自分は学生から初めて社会人になり、至らぬことも多く、ご迷惑をおかけしてしまったことをお詫び申し上げます。研修医1年目の前半は細木病院での研修で、後半は外部病院での研修をしていました。細木病院で学んだ知識・技術を

外部病院で生かした経験もあり、とても嬉しかったです。また、外部病院で培った経験をもとに、細木病院での今後の研修に生かしていければいいなと考えています。

社会人になってからは、今までの1年間と同じとは思えないくらい時間がたつのはあっという間でした。学生のときに見えていた世界と、医師になってから見えている世界は驚くほど異なっていました。まだまだ自分が未熟であるという感覚を忘れずに、これからも成長できる機会を大切に、残りの1年間を過ごしていきたいと考えています。何卒よろしくお願ひいたします。



研修医 中嶋 桃子

細木病院で研修を始めてから早くも1年がたちました。少し前に初期研修開始のご挨拶をさせていただいたばかりなのに、時間がたつのはあっという間だなと感じました。右も左も分からず研修をスタートし、皆さんには数えきれないほどのご迷惑をおかけしました。しかしながら指導医の先生をはじめとしたスタッフの方々が、優しく丁寧に指導してくださったおかげで、とても温かな研修生活を過ごすことができ感謝の気持ちでいっぱいです。知識も手技もまだまだ未熟ではありますが、1年前と比べると少し成長できたのではないかなと思ひます。

研修医1年目の後半からは外部の病院で研修することも多く、細木病院を離れている時間が長かったのですが、帰った時には先生やコメディカルの方、事務の方が優しく声をかけてくださり本当にうれしかったです。2年目の研修は外部の病院からスタートします。細木病院で学ばせていただいたことを精いっぱい生かすと同時に、たくさんの方々のことを吸収して戻ってきたいと思ひます。また戻ってきた際にはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



細木病院こころのセンター
精神科デイケア・フレンズ通信

ハロー★フレンズ



ウォーキングにいい季節、 一緒に出かけてみませんか!?



ウォーキングと聞くとどんなイメージが浮かびますか? 太陽の光や風、川のせせらぎなど、のんびりしたイメージではないでしょうか。ウォーキングという響きには治療を感じさせない良さがあります。ところがウォーキングで得られる治療的効果は山のようにあるんですよ。今回はその中から少し紹介させていただきます。

まず、歩行は足腰の運動に加え、体を支える、腕でバランスを取るなど、いくつもの運動の統合を要し、エネルギーを消費するので、生活習慣の改善につながります。厚生労働省は1日8000歩程度の運動を推奨しています



城西公園をみんなでウォーキング!

が、フレンズのプログラムでは毎回6000歩前後の歩数をカウントしているので、あと2000歩は買い物などで達成でき

そうですね。歩行中は、身体の回旋運動を促して、消化器官のマッサージ効果にもなり、消化機能を改善します。また、



太陽光を浴びることで、セロトニンが分泌されます。セロトニンは幸福ホルモンとも呼ばれており、抑うつ気分を改善して、夜は睡眠を促すメラトニンに変化し睡眠の質も向上します。これら心身への影響に加え、目にする草花の変化に驚き、美的感覚を養い、名称を知りたい知的欲求を高めます。時代を感じる建造物やモニュメントは歴史的な興味関心を刺激してくれます。また、参加中に自然と発生する会話は、同じ時間、同じ空間を歩くという共有体験が後押ししてくれているようです。

暑くも寒くもない今、最高のウォーキングの季節です。一緒に出かけてみませんか。

(作業療法士 北村 剛)

三愛病院

「デイサービスいろは」 自然の空気が漂う空間を大切にしています! お試し利用大歓迎!!

毎日楽しく、自分でできることは楽しいことからやってみよう! 自然の空気が漂う空間づくりに、「デイサービスいろは」は職員一丸となって取り組んでいます。主役はもちろんご利用いただく皆さんです。

ある日の様子をお伝えしてみました。テーブルゲームで勝負に白熱したり、楽しくおしゃべりしながら「あみぐるみ」や「こよりアート」などの「ものづくり」に熱中しています。集中する細かな作業の合間には、機能訓練指導員との個別リハビリで肩や足をしっかり動かし、気分転換も図ります。この日はお天気もよく、敷地内にあるサクラノボの収穫祭を行いました。鳥に食べられないようにネットで保護し、色づきを確認しつつこの日を待

っていました。ブロック塀との狭い隙間もなんのその、リハビリの効果できめんで、どんどん収穫が進んでいきます。もぎたてをそのままおやつにするという贅沢な一日となりました。

「デイサービスいろは」では、利用者の皆さんに「あそこのデイは面白い。また行こう」と思っただけのことを大切にしています。皆さんの日々の暮らしが一層充実し、うれしい気持ちやワクワクを感じ、楽しみながらデイサービスを利用していただくことができるよう日々努めていきたいと思えます。お試し利用大歓迎です。ぜひ一度この空間に触れてみてください。お待ちしております。(管理者 宮内 清)



さあ、きれいに
仕上げるよ



勝負なら、
負けませんよ



さて、私はどこに
居るでしょうか



腕を伸ばして…
これもリハビリ



大収穫です

お薬相談室 「湿布薬」 について

今回は、『湿布薬』について、細木病院薬剤部の小松めぐみ副部長がお答えします。

湿布薬を63枚までしか出してもらえなくなったのはどうしてですか？

今年4月の診療報酬改定で、外来患者さんに対して保険給付の範囲内で処方できる湿布薬が、原則1処方につき「63枚」までと上限枚数が引き下げられたためです。また、すべての方に上限枚数の63枚が処方できるわけではなく、1回あたりの使用量、使用回数、使用日数から計算した枚数までしか処方することができません。

痛くてつい湿布薬を何枚も貼ってしまう、といった経験はありませんか？

湿布薬は痛みを感じる部位に直接貼ることで効果を発揮し、体内への吸収が少ないため、全身の副作用を減らすことができます。しかし、使用量が増えてくると、皮膚から吸収される量が増えてしまい、飲み薬と変わらなくなることがあります。痛みが強いとついつい鎮痛剤に

頼ってしまいがちですが、湿布薬は痛いところに1日1枚～2枚で十分効果を発揮します。湿布薬といえども使用量を守ることは大切です。

湿布を貼っていて、かぶれたという経験はありませんか？

薬剤または湿布の素材が体質に合わなかったという場合もありますが、それ以外で起こるかぶれもあります。これから日差しがキツくなる季節ですので、「光線過敏症」への注意も必要です。光線過敏症とは、湿布を貼っていた部分に紫外線があたることで皮膚に炎症や水疱ができる皮膚炎のことです。ケトプロフェン入りの湿布薬（モーラステープ等）では、光線過敏症を起こしやすいといわれているため、使用中は、紫外線を透しにくい衣服やサポーターを着用し、直接貼付部分に紫外線が当たらないようにすることが大切です。また、使用后数日から数か月たってから発現することもあるため、当分の間、同様の注意が必要です。



管理栄養士イチオシ！

お楽しみ“おやつ”レシピ

カルピスゼリー

暑いと感じる日が増え、さっぱりしたおやつがうれしい季節になりました。

今月は、以前から細木病院の病院食でも提供している「カルピスゼリー」の作り方をご紹介します。寒天とゼラチン両方を使っているので失敗が少なく、子どもからお年を召した方まで楽しめるおやつです。

(管理栄養士 永野睦美)



カルピスゼリー

(作りやすい分量:10個分)

水	590ml
粉寒天	3g
砂糖	20g
カルピス原液	170g
粉ゼラチン	4.5g
みかん缶詰	200g (約20房)

〔1個あたり〕

エネルギー64kcal、たんぱく質0.8g

(作り方)

- ① 水、粉寒天を鍋に入れ、混ぜながら火にかけ、沸騰したら2分間よく煮溶かす。
- ② ①を火からおろし、砂糖とカルピスを加え混ぜ、粉ゼラチンも振り入れよく混ぜ溶かす。
- ③ ②の粗熱を取る間に、容器にみかんを2房ずつ入れる。
- ④ ③にゼリー液を注ぎ、冷蔵庫で冷やし固める。

	寒天	ゼラチン
原材料	テングサ (海藻)	コラーゲン (動物性蛋白質)
ゼリーが固まる温度帯	室温	冷蔵庫
ゼリーが溶ける温度帯	80℃前後	30℃前後
気を付けること	必ず果汁など酸味のある果汁と一緒に煮立てると固まらない ★寒天と砂糖を煮溶かした後、火からおろし60℃まで冷ましてから果汁を加える	生のパイナップルやキウイを入れるとタンパク質が分解されてしまい固まらない ★缶詰を使うか一度果物を加熱し酵素を失活させてから使う



令和4(2022)年6月予定		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	
本館 1階	内科	1診	中村寿宏 (糖尿病外来)	小野寺真智	中村寿宏 (糖尿病外来)	細木秀美 (肥満外来)	坂本賢司	森下美智子 (リウマチ膠原病)	中川 治	高知大 向田健太郎	中村寿宏 (糖尿病外来)	高知大 青山夏希	坂本賢司
		2診	上村千鶴子	品原正幸	高知大 前田理沙	高知大 前田理沙	高知大 小笠原史也	高知大 上村千鶴子 ~16:30	小野寺真智	森下美智子 (リウマチ膠原病)	高知大 鈴木太郎 小林由佳 (禁煙外来)	品原正幸	担当医 岩崎泰正 <small>(交代)</small>
	内視鏡			小野寺真智		小野寺真智							
	循環器内科	予約制 ☎088-845-5291	西本美香										
	整形外科	予約制 ☎088-845-5291	高知大 南場寛文 9:30~12:00				森田穰二		森田穰二		森田穰二		高知大泉仁 9:30~12:00 (第3週休診)
	小児科	小児科の受付 月・水・木・金は午後5:30まで 火は午後5:00まで	橋詰 稔	橋詰 稔	高知大 高橋一平	高知大 高橋一平	橋詰 稔	橋詰 稔	橋詰 稔	橋詰 稔	橋詰 稔	橋詰 稔	橋詰 稔
	耳鼻咽喉科		横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子		横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子 葛目・藤原 <small>(交代)</small>
	皮膚科	診察日増	安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美			安井喜美	安井喜美	高知県立大教授 池田光徳 予約のみ
	泌尿器科				山本志雄						山本志雄		
	精神科	予約制 ☎088-845-5291							高知大 森田啓史 (第1・3・5週~12:00 第2・4週~10:30)				
放射線科		岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎		岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	
本館 2階	形成外科 (床ずれ・美容)	予約制 ☎088-845-5291	三好みちよ 9:15~11:30		三好みちよ 9:15~11:30		三好みちよ 9:15~11:30				三好みちよ 9:15~11:30		
東館 1階	健診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	



日高クリニック



〒781-2153 高岡郡日高村本郷滝ノ前7 ☎0889-24-7785(代)
https://hidakaclinic.jinseikai.kochi.jp

令和4(2022)年6月予定		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
小児科 / 内科		松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	定休日	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博
整形外科													北岡和雄 (隔週)

LAWSON

ローソン高知

インフォメーション

ローソン2022年の テーマは 「健康取組」です!

①なぜ「健康取組」を強化するのか?

「健康的な食生活にローソンが貢献している」と思っている人が、約70%います

②なぜ「たんぱく質」を訴求するのか?

今まで取り組んできた「低糖質」に加え、ニーズが高い「たんぱく質」「食物繊維」を含め、初夏の体力作り、体調管理に必要なからです。

隔月テーマ

5月

7月

9月

テーマ	たんぱく質	たんぱく質	たんぱく質
時節の特徴	初夏 気温差がある季節 夏へ向け体力づくり	本格的な夏 体力づくりへの意識	食欲の秋 食べ過ぎ・体調変化への気づかい

11月

1月

テーマ	糖質	食物繊維	テーマに沿った商品をいろいろ提供いたしますので 乞うご期待!!
時節の特徴	世界糖尿病デー 体調管理への気づかい	風邪・花粉シーズン	

ご存じですか!?

ソーシャルワーカー からのミミ情報

精神障害者 グループホームとは?



精神障害のある人が、少人数で世話人などから生活や健康管理の面でのサポートを受けながら、共同生活を営む入居型施設です。平日の日中は就労事業所などに通所したり、病院や施設のデイケア等に通い、帰宅後は食事や入浴など一般の方と同様の生活を行います。各自に個室があり、食堂、お風呂場などは共同スペースとなっています。

細木病院の在宅部には、精神障害者グループホーム『介援隊』『介援隊2』(男性用)、『やまもも寮』(女性用)の3施設があります。利用者さんからは「1人で暮らしていた時に比べて、さみしいのが半減した」「仕事に行くのに規則正しい生活が送れるのでよかった」というお声をいただいています。また、就労している利用者さんの中には、当院で障害者雇用されている方もいらっしゃいます。

詳しい内容等につきましては、グループホーム管理者までお問い合わせください。☎ 080-2995-9146

(グループホーム管理者 坂本万理)



令和4(2022)年6月予定		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	
本館1階	外科	1診	上地一平	尾崎信三 <small>(乳腺・甲状腺)</small>	尾崎信三	担当医	上地一平	上地一平	尾崎信三	担当医	上地一平	担当医	尾崎信三
		2診	西村哲也 <small>(血管外科)</small>				西村哲也 <small>(血管外科)</small>	西村哲也 <small>(第1・3・5週)</small>					
	緩和ケア科	完全予約制 ☎088-873-3806			安藤 徹	安藤 徹		安藤 徹	安藤 徹	安藤 徹	安藤 徹	安藤 徹	安藤 徹
	痛み外来(ペインクリニック)				細川滋俊						細川滋俊		
	整形外科	1診	北岡和雄	山中陳靖	山川晴吾	北岡和雄	山中陳靖	担当医	北岡和雄	高知大教授 池内昌彦 <small>予約のみ</small>	北岡和雄		高知大 喜安克仁
	2診	山川晴吾			高知大 泉 仁	公文雅士		公文雅士	山中陳靖	山中陳靖	山川晴吾	公文雅士	
	小児整形外科		山川晴吾									高知大 泉 仁 <small>(第3週)</small>	
本館1-3階	放射線科	耕崎志乃	耕崎志乃	高知大 松本知博 <small>9:00~12:00</small>	高知大 吉松梨香 <small>13:30~16:30</small>	耕崎志乃	耕崎志乃	耕崎志乃	高知大 砥上幸樹	耕崎志乃	耕崎志乃		
本館2階	総合診療科	内科初診時は、基本的に専門の内科ではなく、総合診療科または一般内科での診察となります。		深田順一		深田順一		深田順一	深田順一 <small>(フレイル外来)</small>	完全予約制	熊谷千鶴		
	一般内科	篠原雅幸 猪狩俊介	細木秀美 弘瀬祥子 森下美智子 <small>(リウマチ膠原病)</small>	松田勇蔵 品原正幸	篠原雅幸		猪狩俊介	弘瀬祥子 篠原雅幸	松田勇蔵 猪狩俊介	松田勇蔵	弘瀬祥子	担当医 <small>(2名)</small>	
	循環器内科	西本隆史	古川敦子 西本隆史	細木信吾	細木信吾 宮地 剛	山本哲史	山本哲史 西本隆史	古川敦子	細木信吾 古川敦子	宮地 剛	山本哲史 宮地 剛	担当医	
	心臓リハビリテーション科	担当医	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香 <small>(禁煙外来)</small>	西本美香	西本美香 <small>(禁煙外来)</small>		
	呼吸器内科		小林 誠	小林 誠						小林 誠			
	消化器内科					上田祐二 <small>(第1~3・5週)</small>		上田祐二					
	糖尿病・内分泌内科		西岡達矢 <small>予約再診のみ</small>	高知大教授 西山 充 <small>(甲状腺外来)</small>	丸山 博	熊谷千鶴	篠原雅幸 <small>(第2・4週)</small>	丸山 博	西岡達矢 <small>(甲状腺外来)</small>		高知大 田口崇文 <small>(甲状腺外来)</small>		
	糖尿病センター	熊谷千鶴			西岡達矢	西岡達矢					丸山 博		
	腎臓内科				(西岡達矢)					高知大教授 寺田典生			
	小児科	1診	細川卓利	新井淳一	新井淳一	新井淳一	中岡祐子	堂野純孝	中岡祐子	中岡祐子	細川卓利	細川卓利	堂野純孝 新井淳一
	2診		堂野純孝	齊藤由実	堂野純孝	高知大医師	高知大医師	竹内愛那		竹内愛那	堂野純孝	小児科は土曜日 午後7時診療あり 13:00~15:00	
	3診	堂野純孝				新井淳一	中岡祐子 <small>予防接種</small>	新井淳一	竹内愛那 <small>~15:00</small>	堂野純孝	竹内愛那 <small>~15:00</small>	堂野純孝 新井淳一	
神経小児科	完全予約制 ☎088-820-6780		細川卓利					細川卓利	細川卓利			細川卓利 <small>(午後のみ)</small> 13:00~15:00	
小児こころの外来	完全予約制 ☎088-820-6780			中岡祐子	中岡祐子						島崎真弓 中岡祐子		
本館4階	脳疾患センター(脳神経外科)	栗坂昌宏	栗坂昌宏	(手術)	高知大教授 上羽哲也	栗坂昌宏	栗坂昌宏	栗坂昌宏	栗坂昌宏	栗坂昌宏	栗坂昌宏	栗坂昌宏	
	耳鼻咽喉科	楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵		楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵	
	皮膚科 / 形成外科		野田理香 <small>~16:30</small>			野田理香			野田理香		野田理香	野田理香 <small>(第3週)</small>	
	泌尿器科			あしだ 盧田真吾	あしだ 盧田真吾			山本志雄	山本志雄			高知大医師	
本館5階	健康管理センター	森下延真	松田勇蔵	森下延真		森下延真	森下延真 弘瀬祥子	森下延真	森下延真 弘瀬祥子	森下延真			
	(健診・人間ドック)	乳がん	尾崎信三					上地一平		尾崎信三			
	子宮がん									担当医			
本館6階	内視鏡センター	上田祐二		上田祐二 弘瀬祥子	上田祐二	山田高義	上田祐二 <small>(第1~3・5週)</small>	山田高義	廣瀬 享		上田祐二 弘瀬祥子 吉岡玲子		
適所	セカンドオピニオン外来		(細木秀美) <small>13:00~15:00</small>									(栗坂昌宏)	
北館1階	こころのセンター	精神科 心療内科	初診	河野ちひろ		藤原維斗彦			吉岡隆興 <small>(もの忘れ外来)</small>	徳岡雅嘉			
			再診	吉岡隆興	徳岡雅嘉	河野ちひろ	徳岡雅嘉	吉岡隆興	藤原維斗彦	徳岡雅嘉	河野ちひろ	河野ちひろ	藤原維斗彦
	内科					松田幸彦						吉岡隆興 <small>(第1・3週)</small>	
	歯科	完全予約制 ☎088-802-3366	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子			細木弓子	細木弓子	